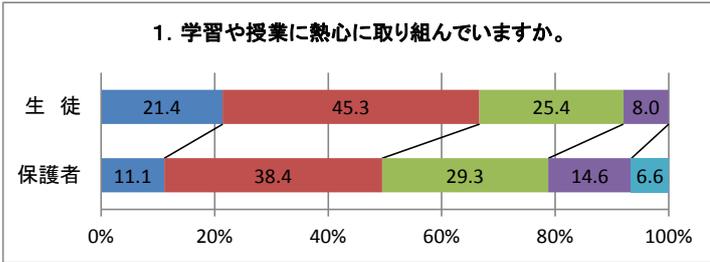


平成26年度 学校評価アンケート結果(前期)

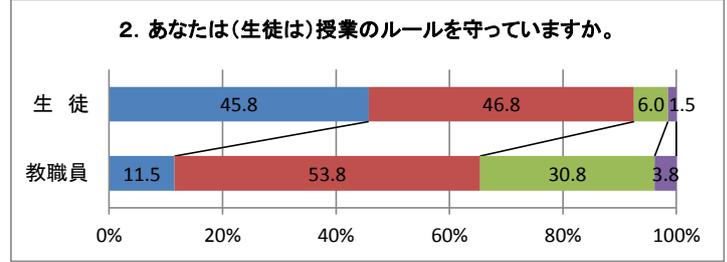
7月実施



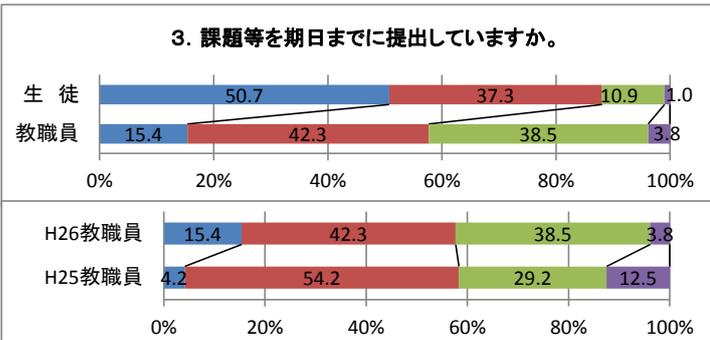
【回答率】生徒92.6% 保護者91.2% 教職員100%



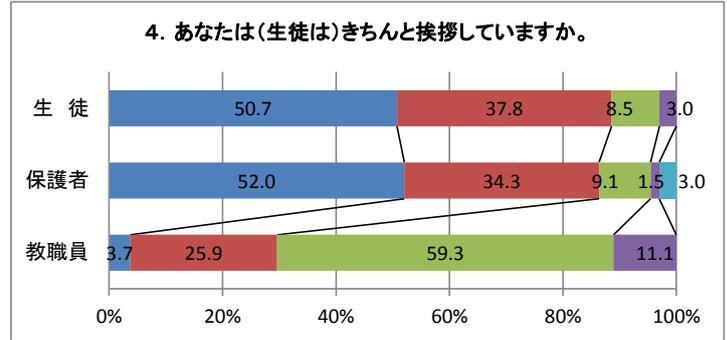
「1. 学習や授業に熱心に取り組んでいますか」
 昨年と比較して保護者評価は4ポイント高く、生徒評価でも5ポイント高くなりました。微増です。「あな、勉強せんなんよ」「やっとなって」という家庭での会話が聞こえてきそうです。



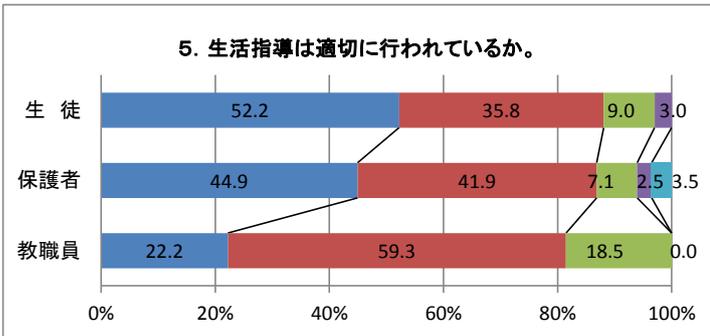
「2. あなたは(生徒は)授業のルールを守っていますか」
 昨年と比較して生徒評価では5ポイント高く、教職員評価でも4ポイント高くなりました。微増です。しかし教職員の評価では65%と低く、後期に向けて改善していかなければなりません。



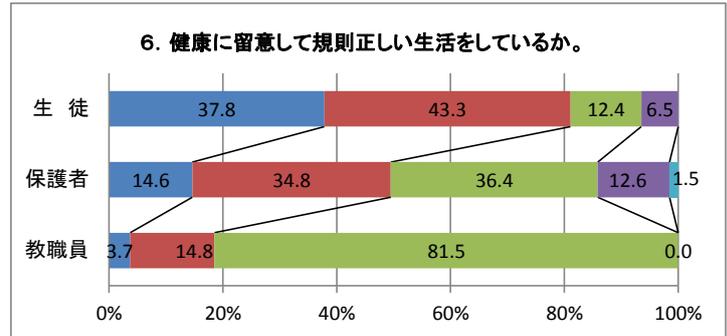
「3. 課題等を期日までに提出していますか」
 教員調査の「肯定」が昨年と比較して11ポイントの大幅アップです。促されて提出するのではなく、生徒自らが考えて主体的に課題に取り組む姿勢が向上するように、指導していきます。



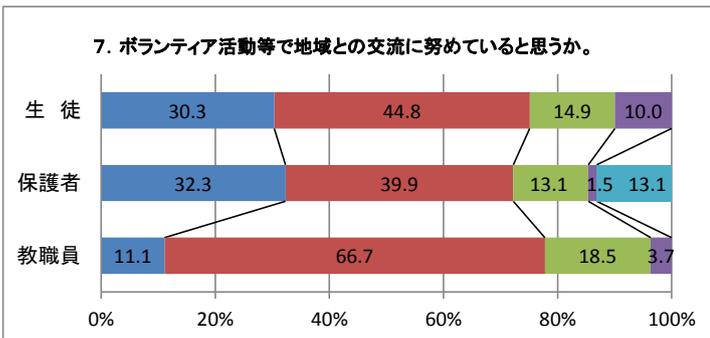
「4. あなたは(生徒は)きちんと挨拶していますか」
 生徒・保護者ともに高い数値でおおむね良好と答えていますが、教員は「自ら挨拶ができるか」という観点でまだ不足と考えているようです。「あいさつは自らするものだ」ということを学校生活全体で伝えたい。



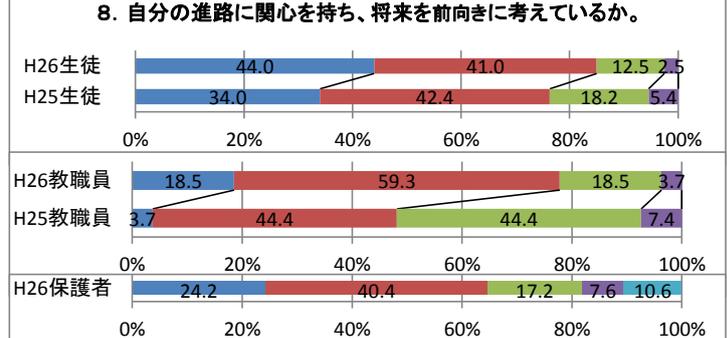
「5. 生活指導は適切に行われているか」
 生活指導については、生徒・保護者・教職員ともに適切だと感じている割合が80%を超えています。



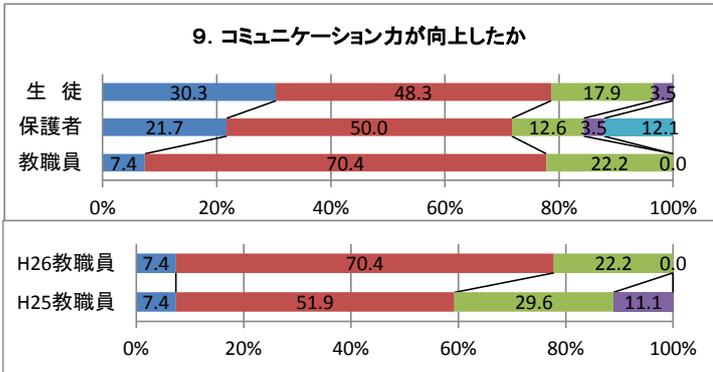
「6. 健康に留意して規則正しい生活をしているか」
 生徒本人は健康に留意していると思っていますが、保護者・教職員の順にもっと健康的な生活をしてほしいと願っています。



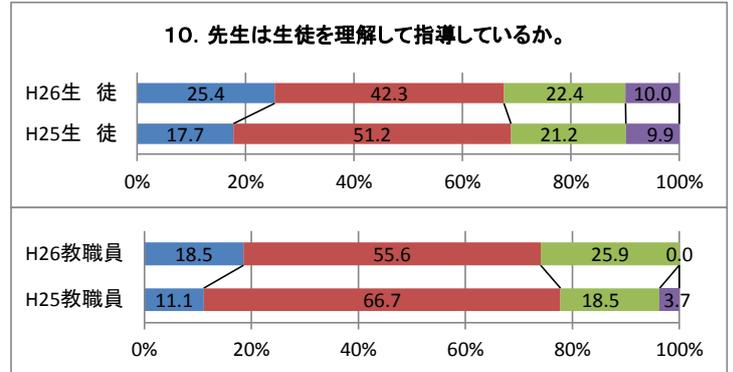
「7. ボランティア活動等で地域との交流に努めていると思うか」
 生徒・保護者・教職員ともに交流に努めていると感じている割合が70%台となっています。昨年前期と比較して生徒・保護者評価は6・2ポイント向上しています。



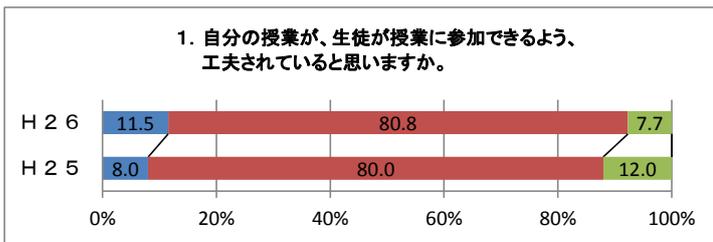
「8. 自分の進路に関心を持ち、将来を前向きに考えているか」
 昨年に比較し、進路行事等で進路意識が向上したと答える生徒が9ポイントアップ、教職員も30ポイントの大幅アップ、手応えを感じています。結果を出して保護者にも安心してもらえるよう指導していきます。



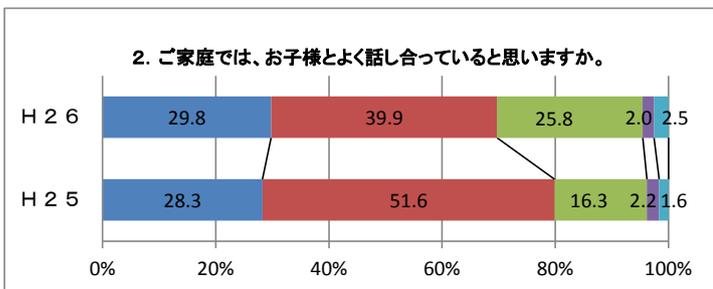
「9. コミュニケーション力が向上したか」
 昨年に比較して生徒では6ポイント向上、教職員では19ポイントも向上しています。今後もコミュニケーション力の向上を意識した授業に取り組んでいきたいと思ひます。



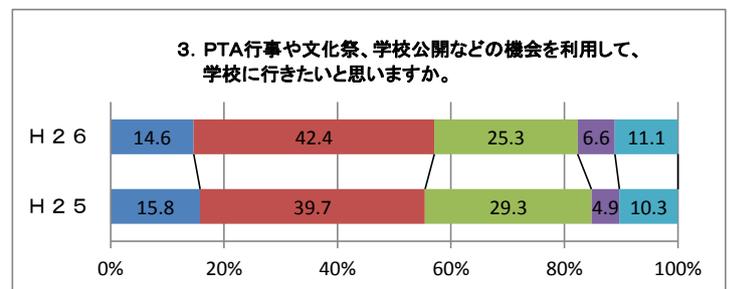
「10. 先生は生徒を理解して指導しているか」
 昨年に比較し、生徒・教職員調査とも「肯定」「やや肯定」を合わせた値にあまり変化はありませんが、「肯定」だけを比較するとそれぞれ8ポイント前後向上しています。今後も生徒理解に努力していきます。



「自分の授業が、生徒が授業に参加できるよう、工夫されていると思ひますか」と教職員に聞いてみました。その結果が左のものです。「肯定」「やや肯定」とも昨年に比較して、若干増加です。自信をもって「肯定」と言えるように工夫を続けます。



保護者だけの質問項目では昨年と比較してみました。「2. よく話し合っている」では「肯定」と「やや肯定」を合わせ10ポイントも減少しています。お忙しいとは思ひますが、親子の会話を大切にしてください。



「3. 学校に足を運ぶ」では、1.5%の増加です。後期にはさらに増えるように工夫したいと思ひます。